

報道機関各位

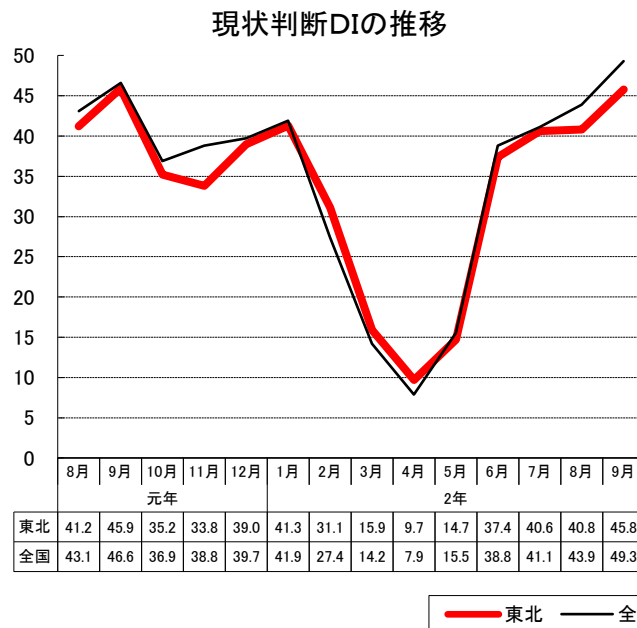
公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年9月 東北分  
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年9月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

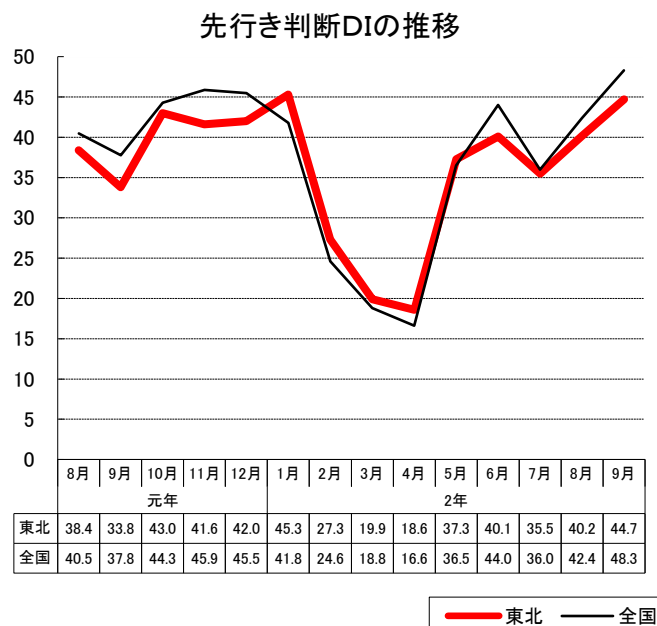
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「45.8」と5か月連続で前月を上回った。前月と比較し+5.0ポイントと大幅に上回った。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

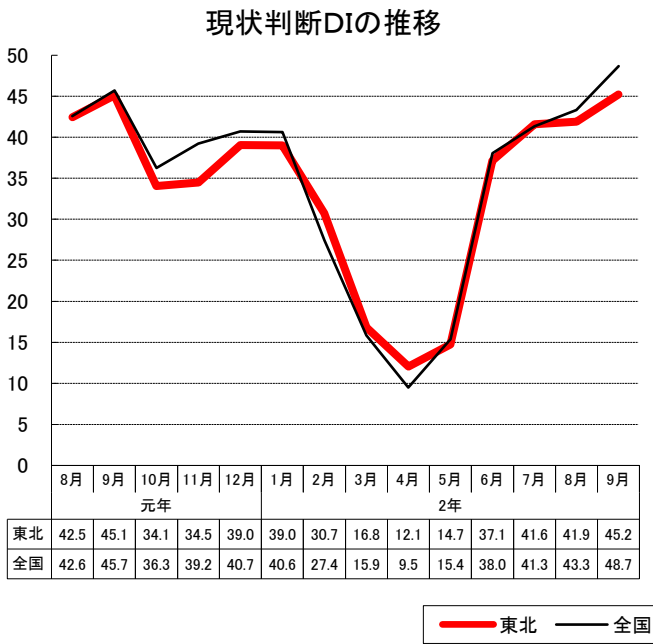
先行き判断DIは「44.7」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+4.5ポイントと大幅に上回った。



## 2. 原数値

### (1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「45.2」と5か月連続で前月を上回った。前月と比較し+3.3ポイントとやや上回った。



○家計動向関連…家電量販店、競艇場、美容室、通信会社等の業種でDIが前月を下回ったが、観光名所・遊園地・テーマパーク、衣料品専門店、一般レストラン、住関連専門店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「44.6」(+1.7)と、5か月連続で前月を上回った。

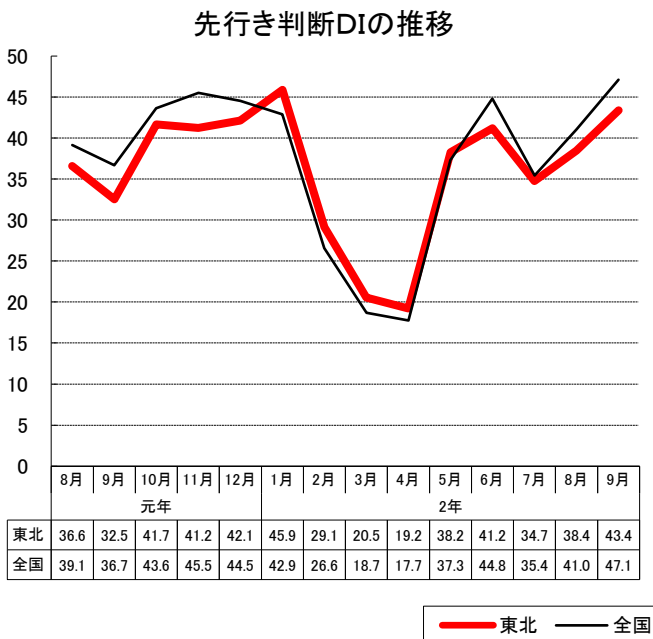
○企業動向関連…建設業、金融業、その他非製造業[飲食料品卸売業]の業種でDIが前月を下回ったが、輸送業、広告代理店・広告業協会、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、コピーサービス業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「47.7」(+7.3)と、前月を上回った。

○雇用関連…DIは「45.0」(+6.8)と、5か月連続で前月を上回った。

### (2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「43.4」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+5.0ポイントと大幅に上回った。



○家計動向関連…コンビニ、スーパー、高級レストラン、都市型ホテル等の業種でDIが前月を下回ったが、観光型ホテル・旅館、乗用車・自動車備品販売店、一般小売店、一般レストラン等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「41.1」(+3.0)と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…コピーサービス業、輸送業、金融業、通信業等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「48.5」(+8.1)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「48.8」(+12.0)と、2か月連続で前月を上回った。

## <参 考>

### ■D I の推移（原数値）

#### （1）現状判断（方向性）D I

	元年					2年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北現状	42.5	45.1	34.1	34.5	39.0	39.0	30.7	16.8	12.1	14.7	37.1	41.6	41.9	45.2
家計動向関連	43.0	45.0	33.5	34.4	38.9	38.2	31.6	17.0	14.5	16.1	41.9	42.8	42.9	44.6
企業動向関連	39.6	46.4	33.6	35.0	39.4	40.7	27.3	17.1	8.3	11.4	27.9	40.4	40.4	47.7
雇用関連(参考)	44.4	43.1	38.9	34.2	39.5	40.8	31.3	15.0	1.6	11.8	23.7	36.3	38.2	45.0

#### （2）先行き判断D I

	元年					2年								
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東北先行き	36.6	32.5	41.7	41.2	42.1	45.9	29.1	20.5	19.2	38.2	41.2	34.7	38.4	43.4
家計動向関連	35.2	31.7	40.5	41.5	41.2	46.7	29.9	22.9	21.2	40.0	42.1	34.1	38.1	41.1
企業動向関連	37.5	33.6	47.1	41.4	43.9	45.7	22.7	16.4	15.9	32.6	39.0	37.5	40.4	48.5
雇用関連(参考)	44.4	36.1	38.9	39.5	44.7	40.8	35.0	13.8	10.9	36.8	39.5	33.8	36.8	48.8

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 令和 2年 9月25日～30日

回答者数 177/189 名、回答率 93.7%（全国 1,835/2,050 名、89.5%）

以 上

#### <お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

## <別紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「良くなっている」

（農林水産業）…ももの作柄は春先の気候のせいで実の付きが例年の6～7割と少なかったが、8月は天候にも恵まれ、甘みが多く品質が良かったため、自営出荷分の販売単価が例年より3～4割良くなっている。

（広告代理店）…コロナ禍の真ただ中に比べれば良くなっているが、前年比では大きくマイナスである。イベントの縮小やリモート化がマイナスの要因である。

##### ○「やや良くなっている」

（一般小売店[酒]）…平日は相変わらず静かで、この新型コロナウイルス禍の状況に消費者がよい意味でも悪い意味でも慣れてしまった感がある。ただ4連休中は徐々に人が動いたために、旅館、観光施設などへの販売量が良かった。今までの出控えのストレスもあり、周りが動くなら動いても許されるかもという心理があるとみられる。

（スーパー）…今年はお彼岸の日取りが良く、そして4連休の効果もあってか、売上が前期比107.8%で推移している。また、酒、たばこが増税前で売られていることもプラスになっている。

（乗用車販売店）…前年超えとはいかないまでも、ある程度の水準まで販売台数が戻ってきている。来店傾向も家族連れが多くなっており、その会話からも過剰に新型コロナウイルスを心配する声は薄れているようである。

（住関連専門店）…今月はお彼岸の月で、小物類の販売が思ったより順調で売上をやや押し上げている。新型コロナウイルスの影響で売上は期待していなかったので良い展開である。

（その他小売[ショッピングセンター]）…新型コロナウイルスの感染状況は変わらないものの、客の慣れもあり、消費マインドは多少なりとも上向きになっている。

（観光型ホテル）…7月から営業再開とGo To Travelキャンペーン効果で今月は良くなっているが、前年比ではまだまだマイナスである。

（旅行代理店）…Go To Travelキャンペーン、市、県の宿泊割引プランより個人旅行の需要が増えてきている。一方で修学旅行のキャンセルが増え始め、法人団体も動きがないことから、全体としては、景気が良くなっているとはいえない状況に変わりない。

（タクシー運転手）…9月中旬から日中の平均乗車回数が3か月前の1.5倍と増加している。

（遊園地）…4連休の天候が良くて久しぶりに込み合い、学校団体も少し戻って一息つくことができたが、前年にはまだ及ばない。

（その他サービス[自動車整備業]）…来店客、フェアへの参加数などが目に見えて増えてきており、回復がうかがえる。

（食料品製造業）…3か月前と比べれば、平日に街中を歩いている人が増えていることや、9月の4連休中は駅構内などに多くの観光客があふれていたという状況から、変わりつつあるのではないかと感じている。4連休を除けば売上はさほど伸びていないが、取引先からの受注も少しずつ増えており工場の稼働率も少しずつ上がってきている。

（その他企業[企画業]）…近くの観光地、温泉街で域外、県外ナンバーの車が目立って増加している。コロナ禍前ほどではないものの来客が増えているという声を聞く。

##### ○「変わらない」

（百貨店）…地域の経済活性化施策などにより、多少入店客数も増えてきているが、以前のような消費動向は見られず、効果は食料品、高額商品の領域に限定され、衣料品の秋物への需要は激減している。

（衣料品専門店）…ふだん着使いのカジュアル服に関しては徐々に需要が通常ベースに戻りつつあるが、仕事用途でのニーズは男女共に少なく、厳しい状況が続いている。

（一般レストラン）…3か月前のどん底に比べれば多少は良くなっているかもしれないが、底辺で推移していることには変わらない。

（美容室）…新型コロナウイルス感染症が発生してから、カットだけでオプションのメニューは要らないという方が多くなっており、単価が伸び悩んでいる。

- (住宅販売会社) …首都圏からの移住希望に伴い安価な中古住宅の需要が伸びている。
- (その他住宅[住宅展示場運営会社]) …8月から来場者数が伸びていたが、県内で新型コロナウイルスの感染者が増加傾向にあることから、前月、前年と比較して大きな変化がなくなっている。
- (建設業) …大型の受注は一旦落ち着いている状況である。
- (金融業) …自動車販売等一部業種には回復の動きがみられるが、新型コロナウイルスの影響により、会合やゴルフコンペ等の減少や冠婚葬祭の規模縮小等が当たり前になりつつあり、飲食や宿泊、冠婚葬祭業の苦戦が継続している。
- (コピーサービス業) …大きな受注はないが、以前よりは働き方改革に関連する商材の引き合いが増え、新型コロナウイルスの影響は確かにあるが、この状況が日常であると理解し、今後の働き方の仕組みを変えようとしている取引先が増え、少しでもそのお手伝いができるよう取り組んでいる最中である。
- (新聞社[求人広告]) …スポーツイベントや文化催事、ステージ等、不特定多数を対象にした催事が復活していないため、関連産業や地域の小売店も含めて相当深刻な影響が続いている。秋祭りなどが集まる催事なしに地方経済が上向くことはない。
- (職業安定所) …新型コロナウイルス関連による雇用調整について、宿泊飲食業については収束傾向にあるが、製造業で増加している。

### ○「やや悪くなっている」

- (コンビニ) …平日は夜が最近また静かになってきたという実感がある。土日は8～9月と催事が全くない状況なので休日の売上が悪い。
- (家電量販店) …買い回りが多くなっている。また、価格に対して厳しくなっている。給付金効果が薄れてきていて反動が出ている状況である。
- (通信会社) …テレワークも落ち着いてきたためか、通信環境の整備をする人も少なくなり新規客獲得にブレーキが掛かってきている。また、節約傾向がより強くなっているため、解約者も徐々に増えてきている。
- (競艇場) …利用者数は特に変わっていないが、前月まで大変良かった客単価が、今月は非常に厳しい状況になっている。

### ○「悪くなっている」

- (その他非製造業[飲食料品卸売業]) …3か月前は緊急事態宣言解除を受けての6月となり、消費マインドが回復し、販売も回復に転じた。しかし7月以降、感染拡大の第2波によって再び消費は落ち込み、今なおその傾向は続いている。

## (2) 先行き判断理由

### ○「良くなる」

- (観光型旅館) …東京、中部、関西からのツアー募集の状況が良い。個人についても、順調に伸びてきている。

### ○「やや良くなる」

- (一般小売店[医薬品]) …町内会で割増商品券が発行され、それがかなりのスピードで出回っていることで景気が良いという雰囲気になっている。12月末までの商品券である。また、Go To Travelキャンペーンで観光客が9月の4連休ではかなり出始めており、これが続けば年末までにも東京から客が来るのではないかと考えている。
- (乗用車販売店) …新型車のモデルチェンジ等もあり、これからの集客目的の宣伝等通常どおり行うことができれば、事前活動次第で実績は伸びてくるとみている。
- (旅行代理店) …Go To Travelキャンペーンにおいて、10月1日より東京着が対象となり更に選択肢が増えるとともに、地域共通クーポンの付与がスタートし客のお得感が更に増す。また、新幹線が通常どおり運行し、国内線においては、減便しつつも一定の座席供給量が維持され、旅行需要を下支えする環境が整っている。
- (観光名所) …数か月前と比べて客は来ているので、我々の販売方法を見直せば、かなり上向きになってくるという感じはある。特に、試食品を出せないという部分でなかなか売上が戻ってこないが、新しい生活様式と同じように新しい販売方式を開発できればもっと上向いていけると考えている。

(食料品製造業) …これから冬に向けて新型コロナウイルス感染拡大の不安はあるものの、Go To Travel、地域共通クーポン、さらにはGo To Eatが10月から本格的にスタートすることに伴い、客からの問合せも近頃増えていることから、一般消費者の期待も大きいことがうかがえる。各取引先もまた、ウィズコロナということで積極的に観光客を迎え入れようとしている。

(輸送業) …少しずつであるが輸出、輸入関連貨物で回復の兆しがみえる。また国内貨物においても新型コロナウイルスで延期になっていた業務が動き始めている。

(通信業) …受注量が少しずつ、前年並まで戻ってきているため、年末、年度末に向けて更に活発になる見込みである。

(人材派遣会社) …2021年の4月の大卒採用を見送っていた企業も、2022年春卒業の現在の3年生向けのインターンシップは比較的積極的に実施しているところをみると、採用意欲は徐々に戻りつつあるようである。今後は現状よりも若干良くなるような見通しである。

(学校[専門学校]) …新型コロナウイルス感染症防止と並行しながら、経済活動も少しずつ動き始めているので、多少景気は良くなるとみている。

## ○「変わらない」

(その他専門店[白衣・ユニフォーム]) …既に新常態ということで需要も必要性も薄くなってしまい、もはや売上が回復することに望みはなくなった感がある。全く需要がないわけではないが、少ないパイルの取り合いになり競争が激化して採算が取れなくなりそうである。本当に厳しくなるのはこれからである。

(高級レストラン) …Go To Travelキャンペーンによる宿泊客の朝食利用は多くなったが、地元客が利用するランチ、ディナーは現状維持である。

(広告業協会) …例年であれば、クリスマスや年末商戦の計画立案の時期であるが、今後新型コロナウイルス禍がどうなるか分からない状況で、販促予算を縮小する企業もあり、厳しい状態はしばらく続く見込み。

(その他企業[企画業]) …観光客は増えつつあるが、以前のにぎわいを取り戻すにはもう少し時間が掛かりそうである。そうは言っても期待は持てると、前向きの明るい表情が多いのも目立つ。

## ○「やや悪くなる」

(スーパー) …コロナ禍においてGo To Travelキャンペーンでの人の動きや内食から少しずつ外食へ動向の変化が出始めているので、食品スーパーでの買物、消費は少し減少傾向になるとみている。

(美容室) …旅行に行くなどのイベントが少なくなってきたので、ヘアスタイルを作りに店を訪れる人も少なくなっている。

(土石製品製造業) …先行きの需要も低調であり、景気回復の兆しが見えない。新型コロナウイルスの影響でインフラ整備や設備投資を控える動きを懸念している。

(公認会計士) …政府のGo Toキャンペーンにより飲食、旅行、小売関係の落ち込みが抑えられるかもしれないが、更なる景気悪化を防ぐ程度で、現状維持が精一杯とみている。建設関係も工事減少が予想されるので、全体としては景気が悪くなる。

(職業安定所) …解雇、雇止めが増加傾向にある。有効求職者数も前年同月比で増加が継続中である。

## ○「悪くなる」

(コンビニ) …新型コロナウイルスで売上が激減している上に雪が降ると来客数が更に減る。おまけに除雪代まで乗ってくる。冬を越せるか不安である。閉める店もかなり増えるのではなかろうか。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上